

港区の脱炭素

ゼロエミッション港を目指す会

ゼロエミッションを実現する会

港区が新たに行った脱炭素施策

- ★ 【全国初】港区内すべての電力を再生可能エネルギーに！ （2021年11月）
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/142328>
- ★ 【全国初】区有施設すべての電力をRE100に **4月1日実現**（2022年1月）
- ★ 【全国初】庁有車すべてをEVに（今年度から3年で実施）（2022年1月）
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/157459>
- ★ 廃プラスチックの分別強化 （2022年1月）
- ★ 【全国初？】区有施設のZEB化（ゼロエネルギービル） （2022年1月）

2050年80%削減→ゼロカーボンシティ宣言を目指す

2020年9月～ 活動開始 港区の温室効果ガス排出量374万t **都内最低最悪**

(大田区291万t・鳥取県385万t)

環境基本計画 **2050年80%削減**で策定されそうになる

～10月 区長への手紙、議員全員へのメール 温暖化対策課長面談

このままでは無理っぽい！ 請願提出を決定

議員全員への請願署名要請(メール・電話)

全会一致で採択された請願

- ◎ゼロカーボンシティ宣言に関する請願(2020/12/4)
- ◎区有施設の省エネ断熱性能の向上を求める請願(2021/3/16)
- 区有施設での自動販売機ペットボトル廃止を求める請願 (2021/6/18)
- △港区2030年CO2削減目標の早期達成を求める請願 (2021/6/18)
- 脱炭素先行地域の設置を求める請願 (2021/10/7)
- 港区内での再生可能エネルギー電力への切替え促進を求める請願(2021/12/3)

継続審議中の請願

- ✖ 2013年CO2削減目標52%削減→取り下げ（IPCCに整合）
- ✖ 2013年CO2削減目標62%削減（東京都カーボンハーフに整合）
- ◎ 区有施設への再生可能エネルギー電気導入を求める請願
- ✖ 区有施設へのEV充電設備設置を求める請願
- ◎ 庁有車への電気自動車(EV)導入を求める請願

自治体の脱炭素を実現するために！

- 忙しくても書いて郵送するだけでいい 躊躇せず 請願・陳情を出す
- 情報公開請求を活用する 一瞬で請求できる（電子申請・郵送）
- 環境審議会に期待しない。審議会では政策は変わらない 進捗や情報を得る手段として大事。脱炭素に後ろ向きな委員（温暖化対策部会長）もいる「港区は2050年ゼロにしないでいい」

田中充委員（法政大学社会学部教授）

- 平日休まなくても自治体アクションできる

港区は議員面談1回（土日でもOK）・課長面談2回・請願説明時だけ